



USERNAME
|
PASSWORD



年度末の急ぎに間に合う



セキュリティ診断

すべての企業に内製化の選択肢を



本資料の目的

年度末は、脆弱性診断や監査対応などの業務が集中しやすい時期です。

多くの企業では脆弱性診断を外部に委託していますが、この時期はベンダーの予約が1~2か月先まで埋まってしまい、スケジュール調整に苦労するケースも少なくありません。

本資料では、「専門性が高く、外部委託せざるを得ない」と思われがちな脆弱性診断を、自社内で実施するための具体的な方法をご紹介します。

内製化により、急を要する診断にも柔軟に対応できるほか、外注コストの削減や、より網羅的なセキュリティ対策の実現など、多くのメリットを得られます。

今からでも、内製化は十分に間に合います。

この機会をセキュリティ品質を高める絶好のチャンスと捉え、ぜひ本資料を参考に、一步を踏み出してみてください。

なぜ年度末は脆弱性診断が混みあうのか？



診断スケジュール集中

年に1度の診断実施を
年度末に設定している
企業が多い



リリースラッシュ

新年度リリース前の
システムやアプリに
対する診断が集中



セキュリティ監査対応

監査・認証対応の一環で
年度末に診断する
ケースも多い

外部ベンダーの予約は1~2か月先まで埋まり、診断スケジュール調整が困難に

外に頼めば安心では済まない混雑期

「専門性の高い診断は外部委託に頼らざるを得ない」——混みあう時期にその手段だけに依存すると、非効率さだけでなく、本来の目的であるセキュリティ確保が難しくなるケースも



委託先との連携に
余分な工数がかかる



診断タイミングを
柔軟に調整できない



追加の依頼ができず
リスク見逃しが発生



柔軟で確実な診断体制へ

内製できる体制を整えておくことで、急なスピードを要する診断にも対応できるように

社内で診断を実施



メリット

- ✓ コストを抑えられる
- ✓ いつでも診断できる
- ✓ ノウハウが社内に蓄積される

?

ツールの導入、構築・設定、使い方の習得・・・
いまから検討して、年度末に間に合う？

クラウド型で提供する AeyeScanなら間に合います (エーアイスキャン)



クラウド型Webアプリケーション
脆弱性検査ツール

国内市場シェア

No.1 ※



有償契約
300社以上

※富士キメラ総研調べ「2025 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 市場編」Webアプリケーション脆弱性検査ツール ベンダーシェア（2024年度実績）
※ITR調べ「ITR Market View：サイバー・セキュリティ対策市場2025」SaaS型Webアプリケーション脆弱性管理市場：ベンダー別売上金額シェア（2022年度実績）

プロが認める品質・精度



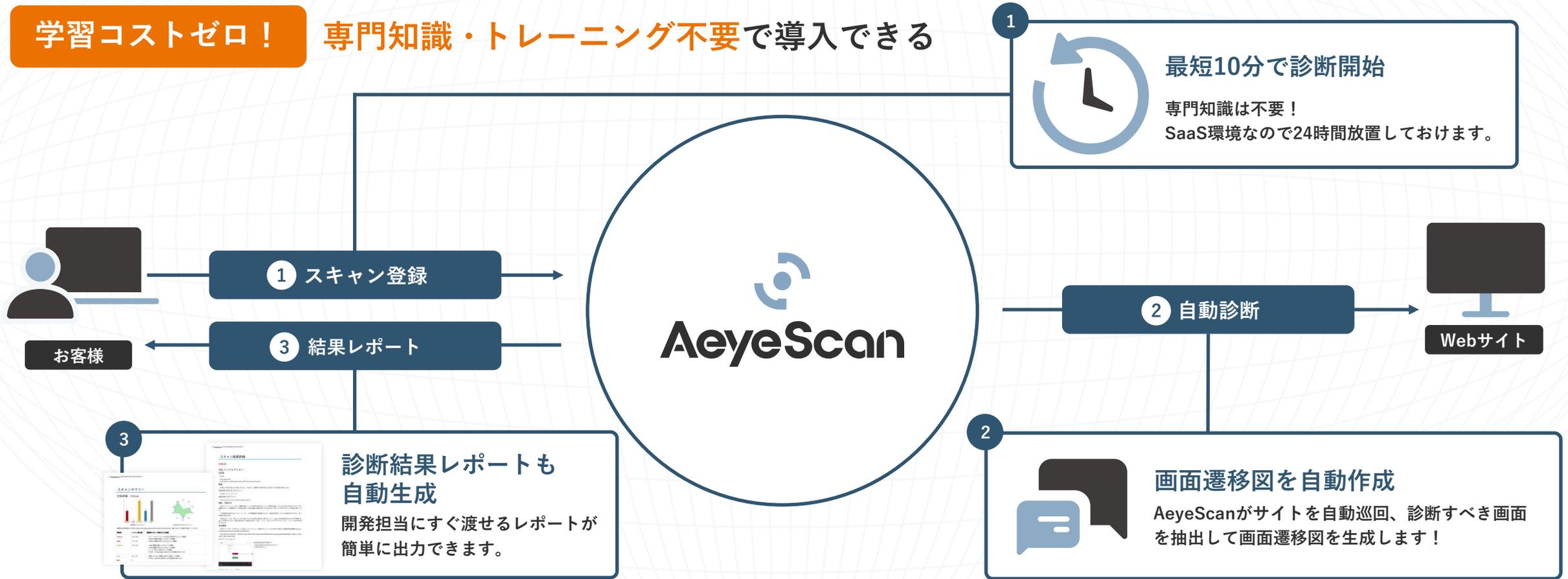
ブラウザ上での直感的な操作

セキュリティベンダーやSIerでも
顧客向けサービスとして活用

専任エンジニア不要、情シスや開発部門でも
安定した運用が可能

クラウド型Webアプリケーション脆弱性診断ツール「AeyeScan」とは

学習コストゼロ！ 専門知識・トレーニング不要で導入できる



| AeyeScanのポイント

テストシナリオの作成が不要で、設定は最短10分で完了

従来のツール

URLの設定

パラメータ・セッションの手動設定

テストシナリオの手動作成

AeyeScan

URLを入力するだけ！



1週間かかっていた準備が3、4時間で
終わるようになったというお声も！

| AeyeScanのポイント

AI活用のレベルが高いため、自動巡回が高精度で範囲が広い

例：AIによるフォーム入力値の判断処理

課題

フォーム入力は正しい値を入力する必要がある。
間違えると、入力エラーとなり遷移できず診断が進まない…

AeyeScanなら、
正確に入力値を推測して巡回！

！ココがポイント

名前や住所など決まった項目だけでなく、
どんな項目にも対応！



クレジットカード

例えば



画像アップロード

フォームを自動認識しラベル化

登録フォーム

姓名	<input type="text"/>
郵便番号	<input type="text"/>
住所	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>
メールアドレス	<input type="text"/>

確認する →

自動認識したラベル(赤枠)に応じ
適切な入力値を設定

姓名
 姓名(カタカナ)
 姓名(ひらがな)
 姓
 名
 姓(カタカナ)
 名(カタカナ)
 姓(ひらがな)
 名(ひらがな)

正常遷移

適切な値を入力

登録フォーム

姓名	巡回 太郎
郵便番号	000-0000
住所	東京都 江東区...
電話番号	03-0000-0000
メールアドレス	taro@example.com

確定 →

| AeyeScanのポイント

簡易的な診断ではない、各種セキュリティガイドラインの自動化可能な項目に対応



OWASP TOP10



OWASP アプリケーション
セキュリティ検証標準



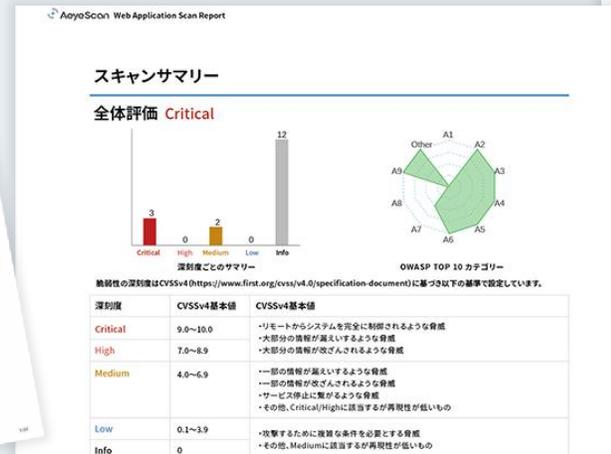
IPA 安全なWebサイトの作り方

! ココがポイント

独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が実施した2021年度セキュリティ製品の有効性検証において、有識者会議による審査の結果、AeyeScanが選定されました。

AeyeScanのポイント

国内製品ならではの「**日本語によるレポート**」が自動生成される！



スキャン結果詳細

Critical

SQLインジェクション

深刻度

Critical

CVSS Score: 9.3
CVSS Vector: CVSS4.0(AV:N/AC:L/AT:N/PR:N/UI:N/VC:H/VA:H/SC:N/SI:N/SAN)

概要

危険な文字列をSQL文に挿入できます。そのため、攻撃者が任意のSQL文を実行できる危険性があります。

OWASP TOP 10 カテゴリー

A1:2017-インジェクション

ASVS4.0 カテゴリー

5.1.2, 5.1.3, 5.1.4, 5.3.1, 5.3.4, 5.3.5, 13.2.2, 13.3.1

解説・対策方法

SQLインジェクションとは、攻撃者が細工した入力値を送信することで、開発者の想定していないSQL文を実行できてしまう脆弱性です。この脆弱性は、利用者の送信した値が適切に前処理されずにSQL文の一部として利用されることが原因で発生します。この脆弱性を悪用することで、データベースの情報漏えいや情報改ざんなど、開発者の想定していない処理を実行されてしまう危険性があります。

対策方法としては、想定していない値が入力された場合に処理を中断することや、SQL文で特殊な意味を持つ文字を無効化することが挙げられます。脆弱性を実装する一般的な方法としては、パラメータ化クエリやプレアドステートメントの利用が挙げられます。

参考情報

安全なウェブサイトの作り方 - 11 SQLインジェクション | 情報セキュリティ | IPA 独立行政法人 情報処理推進機構 (<https://www.ipa.go.jp/security/vuln/websecurity/sql.html>)

SQL Injection Prevention - OWASP Cheat Sheet Series (https://cheatsheetsseries.owasp.org/cheatsheets/SQL_Injection_Prevention_Cheat_Sheet.html)

スクリーンショット



ココがポイント

- どのガイドラインに準拠して検出された項目かがわかる
- どう修正すべきかも記載しており、そのまま開発者に渡せる
- エグゼクティブサマリーも簡単に作成可能



様々な形式でカンタンに
自動生成ができる！

さまざまな企業さまに導入いただいております

ユーザー企業

人材・教育



インフラ



金融



メディア



製造



エンタメ



SaaS



SI・IT企業

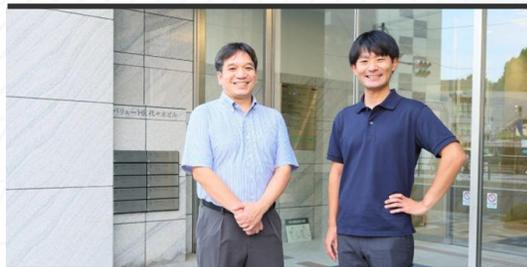


セキュリティ企業



導入事例紹介

バリューHR様



企業名 株式会社バリューHR

事業内容 健康情報のデジタル化サービス・健康管理サービスの提供など

従業員数 680名 (2023年12月31日現在)

課題

他社の診断ツールを使っていたが、多くの時間と工数がかかるほか、対象範囲をすべてチェックできずにいた

具体的な課題

- 1 顧客から求められるセキュリティレベルに応える必要がある
- 2 他社ツールでは設定やスキャンに時間がかかり、診断しきれないことも多かった
- 3 好きなタイミングでスキャンしたいため、外部委託はできない

機微な個人情報を大量に預かっていることもあり、顧客からも定期的な脆弱性診断の実施状況を問われていた。セキュリティの担保のために他社の診断ツールを導入したものの、時間や工数などの課題が生じ、他のツールを検討することになった。

導入

短時間でスキャンできて使いやすく、設定も楽なことから導入を決定

導入の背景

- 1 以前使っていたツールと比較して設定が簡単
- 2 スキャン時間が短縮でき、使いやすい
- 3 OWASP TOP 10に沿って出されるレポートがわかりやすい

普段から付き合いのあるベンダーからの紹介も含め、いくつかの候補を検討する中、短時間でスキャンでき、使いやすいことを重視してAeyeScanを選定。中でも、ユーザーIDやパスワードの仕様を調べて設定する必要がなく、楽だと感じた。

効果

診断にかかる時間・工数が短縮できたほか、見込み客からのセキュリティに関する質問にも迅速に回答できるようになった

具体的な効果

- 1 サービス導入前にセキュリティについて回答することで、営業もしやすくなった
- 2 画面遷移図により、自社サービスの構成が把握できるようになった
- 3 数日かけても終わらなかった診断が、1日で終わるようになった

AeyeScanの導入で、スケジュールを組んでおけば自動的にスキャンが実施されるようになった。工数や時間が削減できたのはもちろん、導入前にセキュリティ実施状況を伝えられるようになったことで、営業担当者にもメリットが生まれた。

導入事例紹介

マネーフォワード 様



企業名 株式会社マネーフォワード

事業内容 PFMサービスおよびクラウドサービスの開発・提供

従業員数 2,400名 (2024年5月末日現在)

課題

事業が拡大しプロダクトが増えるにつれ、脆弱性診断の間隔が空いてしまうことが懸念材料だった

具体的な課題

- 1 外注だとナレッジが蓄積されない
- 2 外注だと画面数に応じた料金体系で網羅的な診断を受けづらい
- 3 開発が遅れた場合、ベンダーとのスケジュール調整が困難

新機能の追加や大規模な改修の際には脆弱性診断を実施していたが、それ以外はプロダクト側の判断に委ねていた。小さな改修のたびに診断を外注するのではなく、内部で迅速に診断する選択肢も持ちたかった。

導入

診断ツールを導入し
継続できなかった経験から、
使いやすさを重視

導入の背景

- 1 自動巡回のカバー率が高く、主要な脆弱性を確実に検出できる
- 2 グループ会社のプロダクトも診断できるライセンス体系
- 3 API診断が可能

外国籍エンジニアも多く在籍するため、英語にも対応していること、Slackをはじめとする外部サービスとの連携性も要件だった。複数のツールの比較検討を進め、いくつかのプロダクトを対象に検証を実施した上で選定。

効果

約60プロダクトに診断を実施できた
今後、最低年1回の診断を計画

具体的な効果

- 1 画面遷移図により、CISO室がプロダクトの画面を把握できるように
- 2 開発者のセキュリティ意識が高まった
- 3 グループ統一のセキュリティスタンダード適用にも活用予定

ほぼすべてのサービスを内製で開発する中、「セキュリティスペシャリストの活動をAeyeScanがサポートしてくれている」とCISOも評価。セキュリティエンジニア以外に、QAチームでも使用を開始している。

AeyeScanの導入を検討してみませんか？

操作性の確認、実際に利用してみたい方へ

AeyeScanの 無料トライアル

トライアルにかかる費用は不要。実際の操作性はどうか？
またどのように脆弱性が発見されるのか？
などの疑問は無料トライアルで解消しましょう。

無料トライアルの申し込み



お見積りの希望・導入をご検討している方へ

AeyeScanへの お問い合わせ

お見積りの希望・導入をご検討してくださっている方は
お問い合わせフォームよりご連絡ください。
当日もしくは遅くとも翌営業日にはご連絡を差し上げます。

お問い合わせフォーム



会社概要

商号	株式会社 エーアイセキュリティラボ		
役員	代表取締役社長	青木 歩	
	取締役副社長	安西 真人	
	取締役	杉山 俊春	角田 茜
	執行役員 CTO	浅井 健	
	執行役員	関根 鉄平	
事業内容	情報セキュリティ関連事業（調査・コンサルティング） セキュリティ診断クラウドサービス「AeyeScan」提供		
設立	2019年4月		
拠点	東京都千代田区神田錦町2-2-1 KANDA SQUARE 11F WeWork内		
資本金	1億円		
従業員数	55名		
Webサイト	https://www.aeyesec.jp/		
取得認証	情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS） ISMSクラウドセキュリティ認証（ISO27017） 情報セキュリティサービス基準適合サービスリスト		

AeyeSecurityLab

セキュリティに
「あらたな答え」を提供し続ける
プロ集団



IS 752963 /
ISO 27001

CLOUD 790050 /
ISO 27017 023-0026-20



AeyeScan

セキュリティに、確かな答えを。